

資料1-6

		福祉事業所		企業		
		し既に い獲得 る得 能力	ほ身に しに業 い付ま 能けで 力にて	し既に い獲得 る得 能力	ほ身に しに業 い付ま 能けで 力にて	能る必 力 要 雇用 と継 続 思 わ れ
依頼事業所数		34		10		
回収事業所数		15		5		
回収率		44.1%		50.0%		
回答の 選択肢	挨拶・返事	12	3	3	2	3
	社会のルール	3	7	1	0	1
	仕事への意欲	2	3	3	2	2
	指示理解	4	2	3	0	1
	コミュニケーション能力	0	7	1	2	1
	作業の巧緻性	1	0	0	0	0
	自力通勤	2	1	1	1	1
	体力	5	5	1	2	2
	責任感	1	0	0	0	3
	協調性	1	10	1	1	1
その他	3	1	0	0	0	

【回答の傾向から分析する今後の課題】

【挨拶・返事】

しっかりと行うことができているという回答が多いが、企業様からは「雇用継続に必要な力」としての回答が多い。引き続き、児童・生徒への「挨拶・返事」について教職員全体で改めて共通理解し、取り組んでいく。

【社会のルール】

事業所様から、卒業までに身に付けてほしい能力として挙げられている。個別の対応が必要なケースはあるが、集団学習の中で、社会性を身に付ける学習の重要性があると分析できる。

【コミュニケーション能力】

事業所様、企業様ともに、卒業までに身に付けるべき力として挙げられている。自ら発信する力や相談する力を、学校生活や家庭との連携の中で身に付けられるようにしていけると良い。

【体力】

身に付けて欲しいこととしての回答が多い。1日を通して働く力を身に付けるために必要な力であることが理解できる。

【協調性】

集団の中で、折り合いをつける力、周りの人と良い関係を作れる力、受け入れる力、集団で行動できる力が得られるように、学校生活の中でも周りに関心をもつようなことから取り組めると良い。

★実習の評価からも、挨拶や返事がうまくできず、課題を指摘されるケースがあり(特に企業様)教職員全体に周知、共通理解の上、指導の充実につなげる必要があると考えられる。